

# よつ & WALK

in 北軽井沢



庭園檜風呂

## 浅間山麓の高原リゾート 北軽井沢温泉「御宿 地蔵川」

長野県と群馬県の県境に広がる浅間高原の一角にあり、雄大な浅間山をのぞむ風光明媚なリゾート地、北軽井沢。かつて、このあたりは地蔵川とよばれ、荒涼とした草原が広がる人の少ない土地でした。大正15年、草津と軽井沢を結ぶ高原列車「草軽電気鉄道」が開通すると開発が進み、知識人や文化人が滞在する避暑地としてにぎわうようになりました。

そんな北軽井沢の歴史とともに歩んできたのが「御宿 地蔵川」。昭和17年、草軽電鉄「北軽井沢駅」の駅前に、小さな旅館として開業したのが始まりです。「夫を早くに亡くし、6人の子どもを抱えていた祖母が、女手一つでできる商いとして選んだのが旅館だったと聞いています」と3代目主人の土屋基樹さん。

当時の北軽井沢駅は、別荘を建築する土木関係者や避暑客、冬はスケート客に春は花見客と、年間を通して多くの客が乗降し、活気に満ちていました。宿も繁盛し、



御宿 地蔵川

昭和23年には、北軽井沢を舞台にした日本初のオールカラー作品「カルメン故郷に帰る」の撮影隊も宿泊。監督の木下恵介からスタッフ一行が泊まったそうです。昭和37年に草軽電鉄が廃線す



ほべたん北軽井沢へ!

ると、人々はマイカーで北軽井沢を訪れるように。宿も時代に合わせて改装を重ね、変化を遂げながら今の姿となりました。クラシカルな建物の中へ一歩入ると、そこは大正ロマンの風情た

だよう空間。奥に進むと、手入れされた庭園をのぞむ温泉があります。窓を開け放てば半露天風になり、さわやかな高原の風も心地よい湯は、別荘地の住人も愛用されています。

夏が人気の北軽井沢ですが、春にも隠れた魅力があると土屋さん。「ゴールデンウィークを過ぎると浅間高原一帯が新緑に染まり、石楠花やツツジが咲いてそれは見事。ぜひ、訪れてみてください」。宿のそばには今も、赤い屋根に白壁の北軽

井沢駅があります。草軽電鉄の廃線後、次々と駅が消えていくなか、北軽井沢駅の駅舎だけは当時のまま残されたかです。ホームに立てば、高原列車が今にも現れそうな気がします。



露天ライオン風呂 (冬季他、閉鎖あり。要確認)



旧草軽電鉄北軽井沢駅舎



北軽井沢温泉 御宿 地蔵川  
住所: 吾妻郡長野原町北軽井沢1988  
TEL: 0279-84-2311  
HP: <https://jizogawa.com>  
日帰り入浴あり

## 編集だより

北軽井沢をドライブ中濃厚ソフトクリームの看板に惹かれて寄り道。ここは、浅間山麓に広がる乳牛の育成牧場「浅間牧場」の入り口にある茶屋。ミルク感たっぷりのソフトクリームと、フレッシュなミルクもいただき、牧場気分を満喫しました。ウサギやヤギなど、かわいい動物ともふれあえます。



浅間牧場茶屋  
住所...吾妻郡長野原町北軽井沢 1990-800  
定休日...12~3月は火・金曜  
営業時間...8:30~17:00 (12月~3月9:00~15:00)  
TEL...0279-84-3698

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。